



# 四中だより

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

## 初の女性総理誕生と「だけんなん！」

校長 太田 穎治  
おおた さだはる

「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、令和7年もあと2週間ほど。来週24日には2学期の終業式を迎えます。3年生修学旅行や合唱コンクール、ふれあい祭り、職業講演会など多くの行事で保護者や地域の皆様のご理解ご協力をいただきました。誠にありがとうございました。来る令和8年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年の大きな出来事と言えば、やはり憲政史上初の女性総理誕生だと思います。（今年の新語・流行語大賞の年間大賞に「女性首相」が選ばれたことは記憶に新しいのでは。）1885年12月、内閣制度創設にあたり伊藤博文が初めて総理大臣に就任して以来、実に140年、104代目にして、初めての女性総理大臣の誕生です。初の女性総理誕生は今後の日本の歴史に残る大きな出来事になるはずです。今は選挙権のない中学生にとっても、これから的人生で折に触れて、「あの頃中学生だった」と思い返すことになると思っています。

初の女性総理誕生のTVニュースで気になるコメントを耳にしました。「高市総理は憲政史上初の女性総理だけれど、重要なことはそこではない。男性だと女性だとそこはもう関係ない」といった内容でした。

私は九州福岡の出身ですが、地元の方言で「だけんなん」というものがあります。標準語にするとしたら「だからなんですか？」といった感じでしょうか。（紙面では言葉の抑揚まで表現できないので、非常に難しいのですが。）

私たちが生きるこの世の中では、なにかにつけて「○○だから」と他と分けて考えがちです。 例えば

「女性だから」「子どもだから」「高齢者だから」「ハンデ（障害）があるから」「外国籍だから」「地方出身だから」などなど。

もちろん、これらの言葉が様々な立場の人々に配慮をする視点で用いられることがあるとは思いますが、差別的に使われることもあると思います。そこでこの言葉「だけんなん！」「女性だからなんだというのですか。」「子どもだからなんだというのですか。」「その言葉の背後にあるのは、差別ではないですか。」・・・ 年の瀬にお子様と一緒に考えるきっかけにしていただければ幸いです。